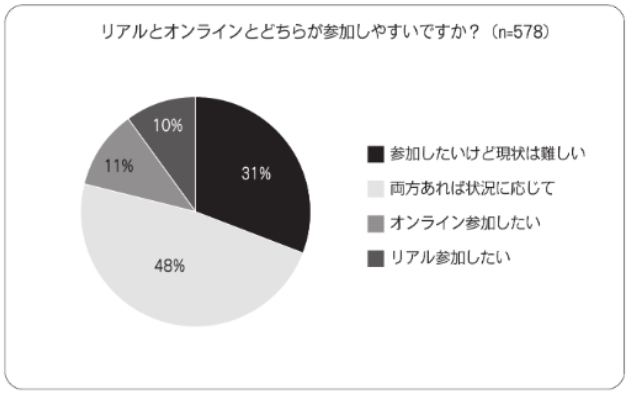
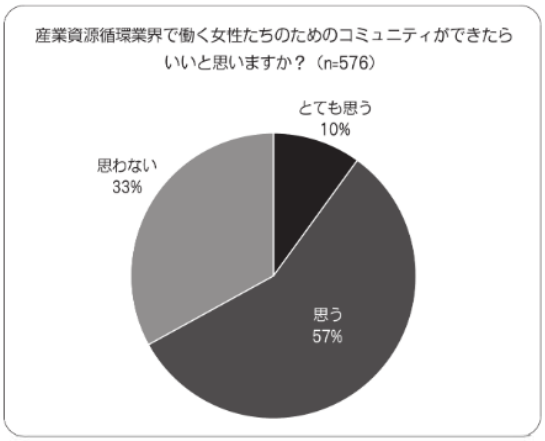
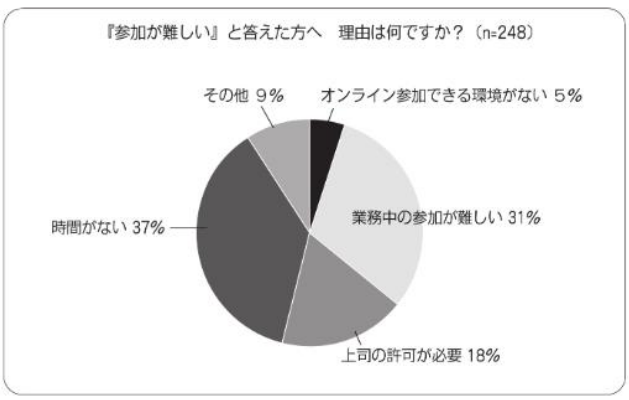
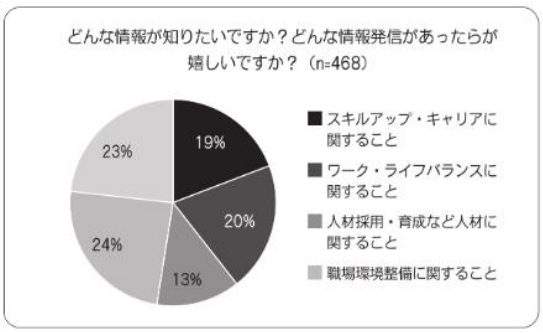
「業務に追われ参加は難しい」など一部後ろ向きな声も









今年7月には準備会メンバーが大阪市内で全国女性団体協議会の発足を発表した

のが多かった。「上司の許可が必要」との回答も18%となっている。その他少数意見としては、「同業者間のトラブルや対立に発展しそうで怖い」、「施設見学などは男性が行くものという雰囲気がある」などの意見もあった。

「コミュニティ内で悩みや相談ができる機能があればどんな内容を相談したいですか」という問いでは、①仕事と家庭の両立や社外・社内コミュニケーション③キャリア――の3項目に分けて回答を求めた。

「仕事と家庭の両立」に関する主な回答は以下の通り。

▼子育て支援やサポートで信頼や愛情、周りの理解を得ながら働き続ける方法について学びたい

▼未婚であるため、仕事と家族の両立のイメージが湧かず、子育てをしながら現役で働かれている女性がどのように仕事と向き合われているのかという相談をしたい

▼仕事と家族の繁忙日が重なるので困っている

「社外・社内コミュニケーション」に関する主な回答は以下の通り。

▼職場と事務所内のコミュニケーションの取り方

▼職場の環境、社内の人間関係等の問題への解決策など、退職の意向を決めてしまう必要な人材をうまく意見としては、「同業者間の引き止める他社の方法を聞いてみたい

▼中間管理職として、上司、部下とのコミュニケーション

▼男性社会の中で、どのようなことに気をつけてコミュニケーションをとっているかなど

▼部段の対人関係につい

▼人材育成、後任者の教育、セクハラ、パワハラ等ハラスメントについて

「キャリア」に関する主な回答は以下の通り。

▼女性管理職の育成方法

▼人材育成は意識しているがキャリアの生かし方がわからない

▼女性は関業物を直接見る機会が少ないため、知識の総合的な目線で点すことができない

▼ステップアップのための情報収集もしくは勉強会などはどのようにすればいいのか

今月発足した全国女性部協議会では、今後も資源循環業界に従事する女性たちの意見を集約したがら、女性目線での情報発信や、女性ならではイベント企画などを行っていく考えだ。